

2025年11月26日

# 個人投資家向け 会社説明会

東京証券取引所 プライム市場  
証券コード 7989

 立川ブラインド工業株式会社



1.グループ概要

2.決算概況

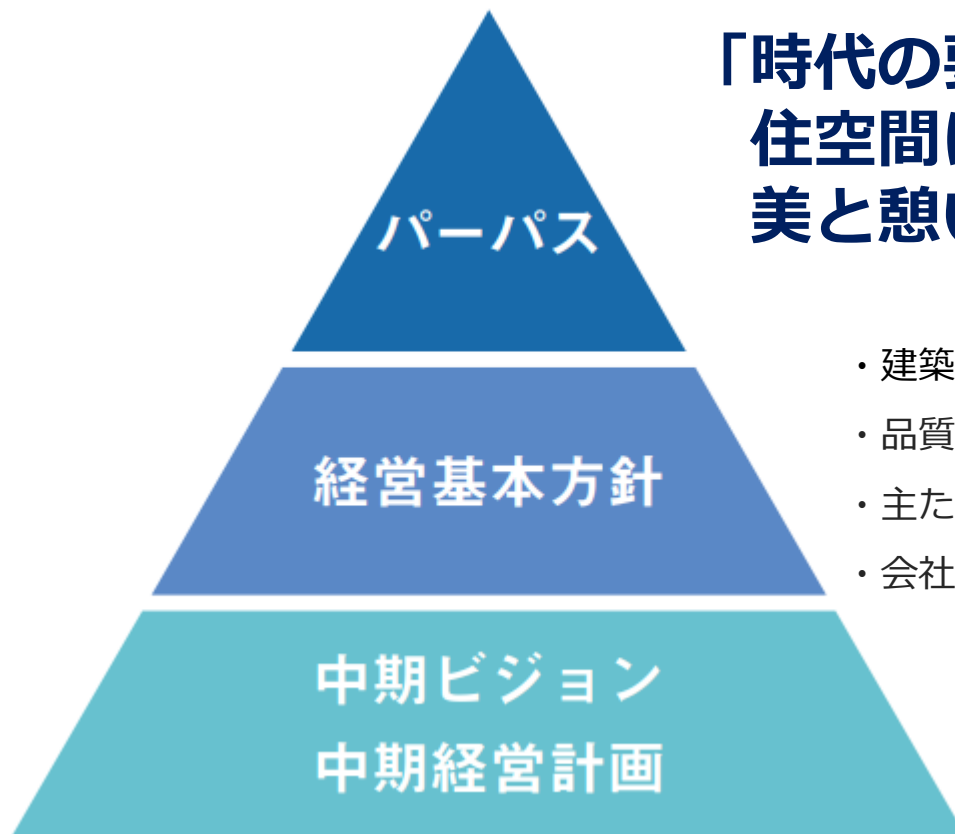
3.成長戦略

4.企業価値向上の取組み

5.株主還元

# 1.グループ概要

- ・ タチカワブラインドグループのパーパス
- ・ 会社概要
- ・ 事業セグメント
- ・ 事業展開



**「時代の要請に応え、  
住空間におけるインテリアを創造し、  
美と憩いを通じて社会に貢献する。」**

- ・ 建築物内外の生活環境の改善により、社会に貢献する。
- ・ 品質及び価格で十分な競争力を有する製品を生産する。
- ・ 主たる製品において、シェアの大半を占有する。
- ・ 会社の繁栄と社員個人の幸福が一致する経営を行う。

タチカワビジョン 2025 ～継続と進化～

# 「建築物内外の生活環境の改善により社会に貢献する」



家庭・企業・都市の中に次代の生活文化を創造する

家庭  
(HOME)

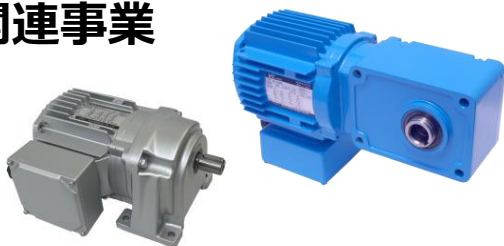
企業  
(OFFICE)

都市  
(PUBLIC)

## 室内外装品関連事業



## 減速機関連事業



## 駐車場装置関連事業



社 名	立川ブラインド工業株式会社 (東証プライム市場 証券コード 7989)
創 業	1938 (昭和13) 年 5月 1947 (昭和22) 年に株式会社改組
資本金	44 億 7,500 万円
連結総資産 ※	638 億円
売上高 ※	連結 414 億円 (単体 316 億円)
従業員 ※	連結 1,315 人 (単体 854 人) パート・契約社員除く
本 社	東京都港区三田三丁目1番12号
事業内容	各種ブラインド／間仕切／カーテンレールの 製造・販売・設計施工
拠 点	営業拠点 : 14支店 57営業所 (出張所含む) 製造拠点 : 2工場 3製作所 ショールーム : 10ヶ所 (海外1ヶ所含む) ディスプレイスペース : 2ヶ所 連結子会社 : 8社

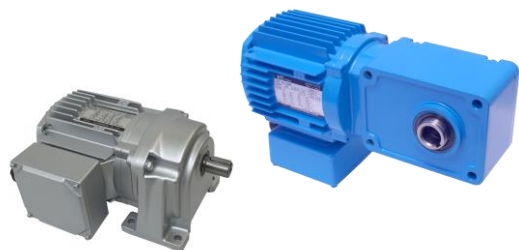
※ 連結総資産、売上高、従業員は、2024年12月末現在



## 減速機関連事業

売上高 3,506百万円

営業利益 234百万円



## 駐車場装置関連事業

売上高 3,065百万円

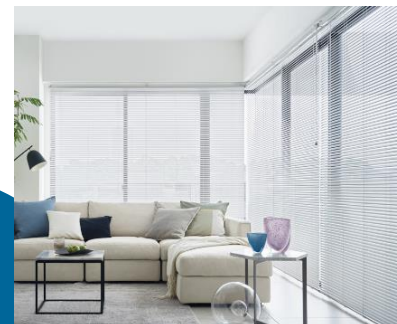
営業利益 425百万円



## 室内外装品関連事業

売上高 34,835百万円

営業利益 3,701百万円

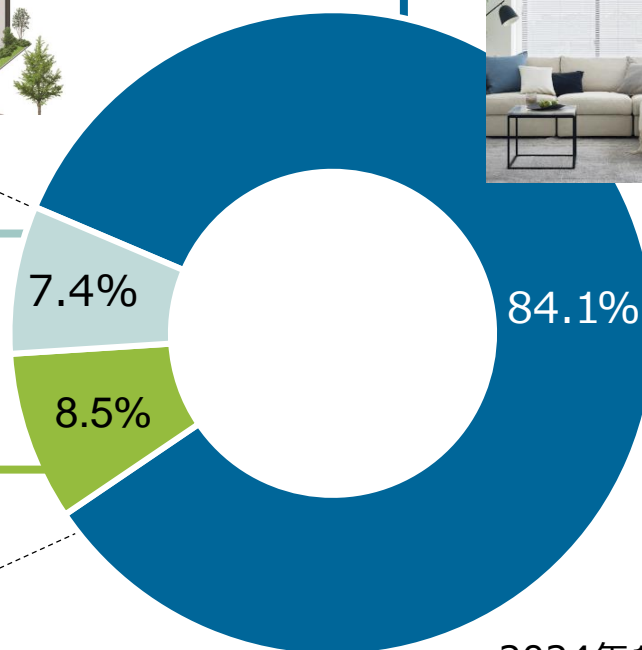


## 富士変速機(株)

- ・所在地：岐阜県岐阜市
- ・資本金：3億円（当社100%子会社）
- ・従業員：217名
- ・業績：売上 67.0億円

経常利益 5.9億円、純利益 4.1億円

[2024年12月31日現在]



2024年12月期実績

## 主な製品群



ヨコ型ブラインド



タテ型ブラインド



カーテンレール



ロールスクリーン



プリーツスクリーン



間仕切り



用途は、「住宅向け」だけでなく、「オフィス向け」、「公共施設向け」など多様

光を演出する、  
お部屋をコーディネートする。

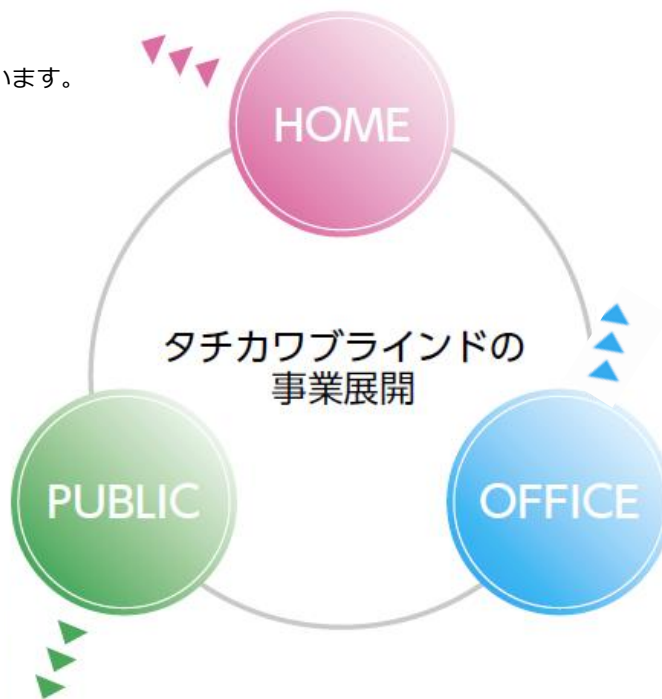
本当にリラックスでき、  
快適さを実感できる空間とはなにか…。  
私たちは、性能、素材、色彩など、  
さまざまな視点からその本質をつねに追求しています。



パーフェクトシルキー〔リビング〕

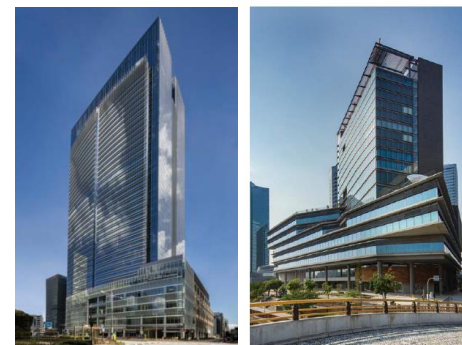


プレイス〔医療・福祉施設〕



高度化するビジネス空間を、  
もっと快適に。

オフィスで働く人たちが  
仕事に専念できる環境をつくるために。  
優れた操作性や省エネ効果の高い  
ブラインドなどを取り揃え、あらゆる  
快適空間づくりの提案を行っています。



左：東京ミッドタウン八重洲  
電動ヨコ型ブラインド「ESSタコスⅡ」  
電動ロールスクリーン

右：読売テレビ 新社屋  
電動ヨコ型ブラインド「ESS半外装タコスⅡ」  
電動ロールスクリーン 他

公共施設にふさわしい快適性を追求。

タチカワブラインドは、今までに庁舎、ホテル、学校、医療・福祉施設、スポーツ施設など、  
都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入した確かな実績を誇ります。

## 納入事例 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー



### 建物概要

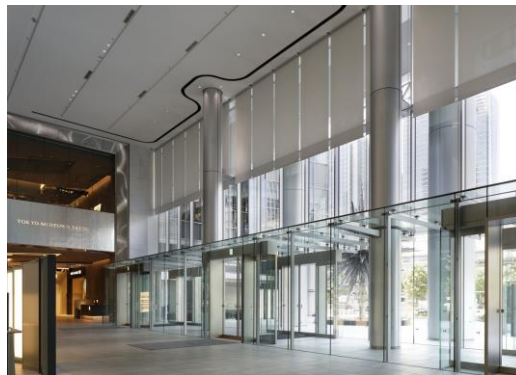
2022年8月 竣工、2023年3月 開業  
地上45階、地下4階 延床面積 約283,900㎡

オフィス、ホテル、商業施設、小学校、子育て支援施設、  
バスターミナルなどの多様な施設を備える  
JR東京駅直結の大規模複合施設

### 納入製品

電動ヨコ型ブラインド ESS35タコスⅡ  
ESD35タコスⅡ  
ヨコ型ブラインド モノコム35  
電動ロールスクリーン ラルク電動大型130タコスⅡ 他

屋上の陽光センサーと連動し、ブラインドの開閉を自動制御



動画はこちらのQRコードやURLから  
ご視聴いただけます



<https://www.blind.co.jp/products/movie/details/107>



納入事例 グラングリーン大阪 北館・南館



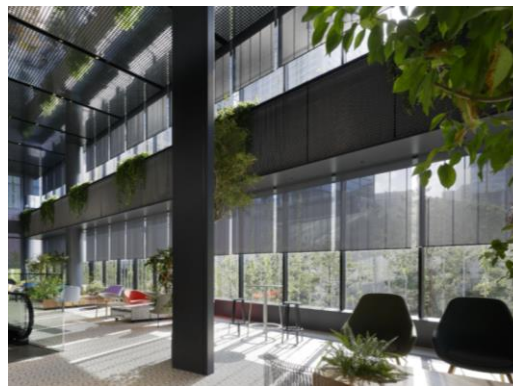
**建物概要**

北館 2024年4月 竣工、2024年9月 開業  
地上26階、地下3階 延床面積 約64,200㎡  
南館 2024年11月 竣工、2025年3月 開業  
地上39階、地下3階（パークタワー）  
延床面積 約314,250㎡

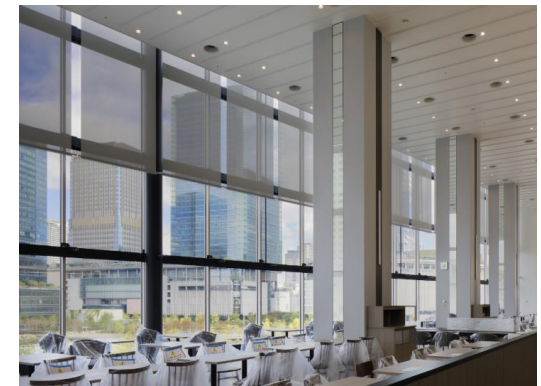
JR大阪駅前の「うめきた」エリアに完成した  
オフィス、ホテル、商業施設などの多様な施設を備える  
大規模複合施設

**納入製品**

電動ヨコ型ブラインド ESS35タコスⅡ  
ヨコ型ブラインド モノタッチ高遮蔽35  
電動ロールスクリーン ラルク電動大型130タコスⅡ 他



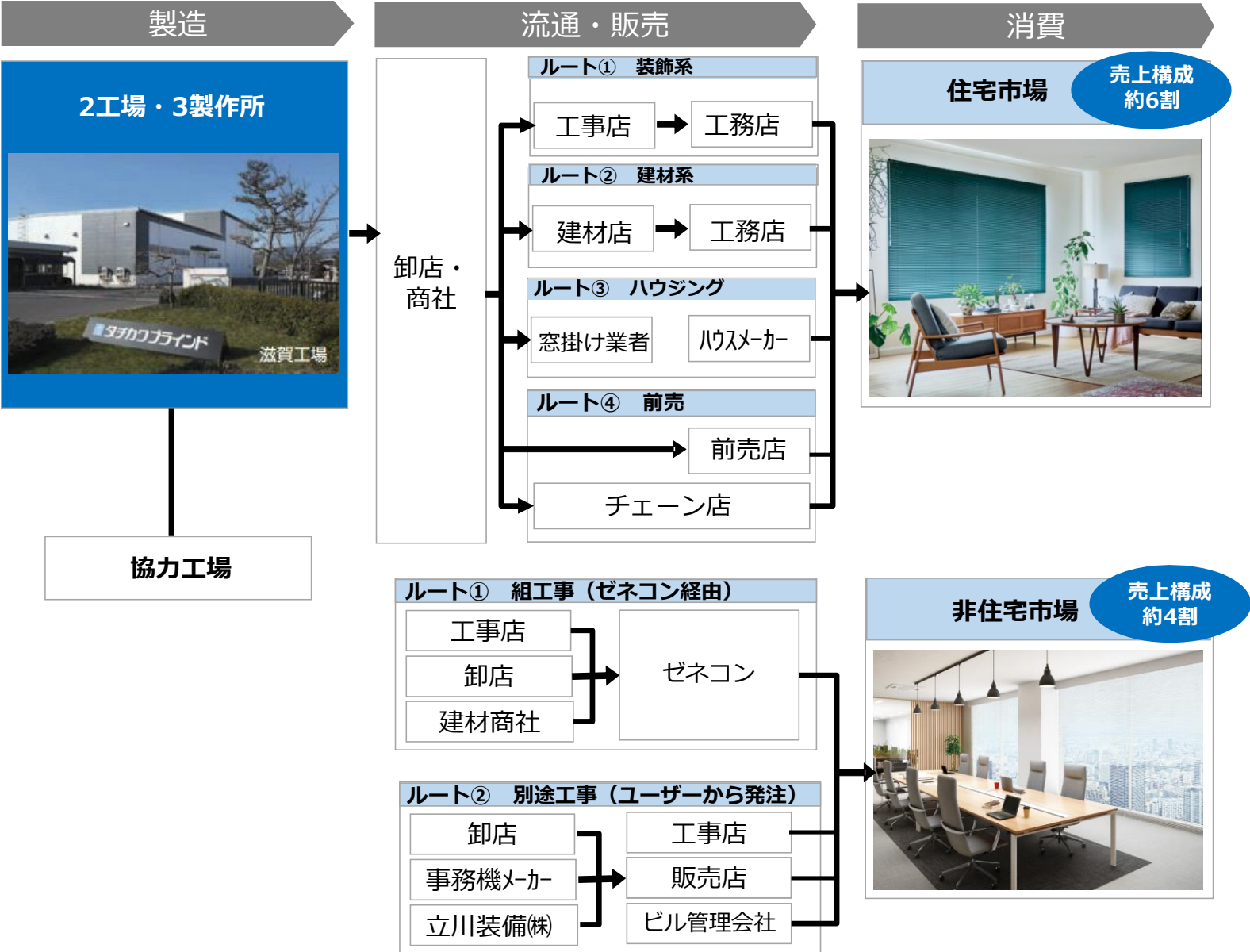
◀ グラングリーン大阪 北館  
<https://www.blind.co.jp/products/movie/details/144>



◀ グラングリーン大阪 南館  
<https://www.blind.co.jp/products/movie/details/143>

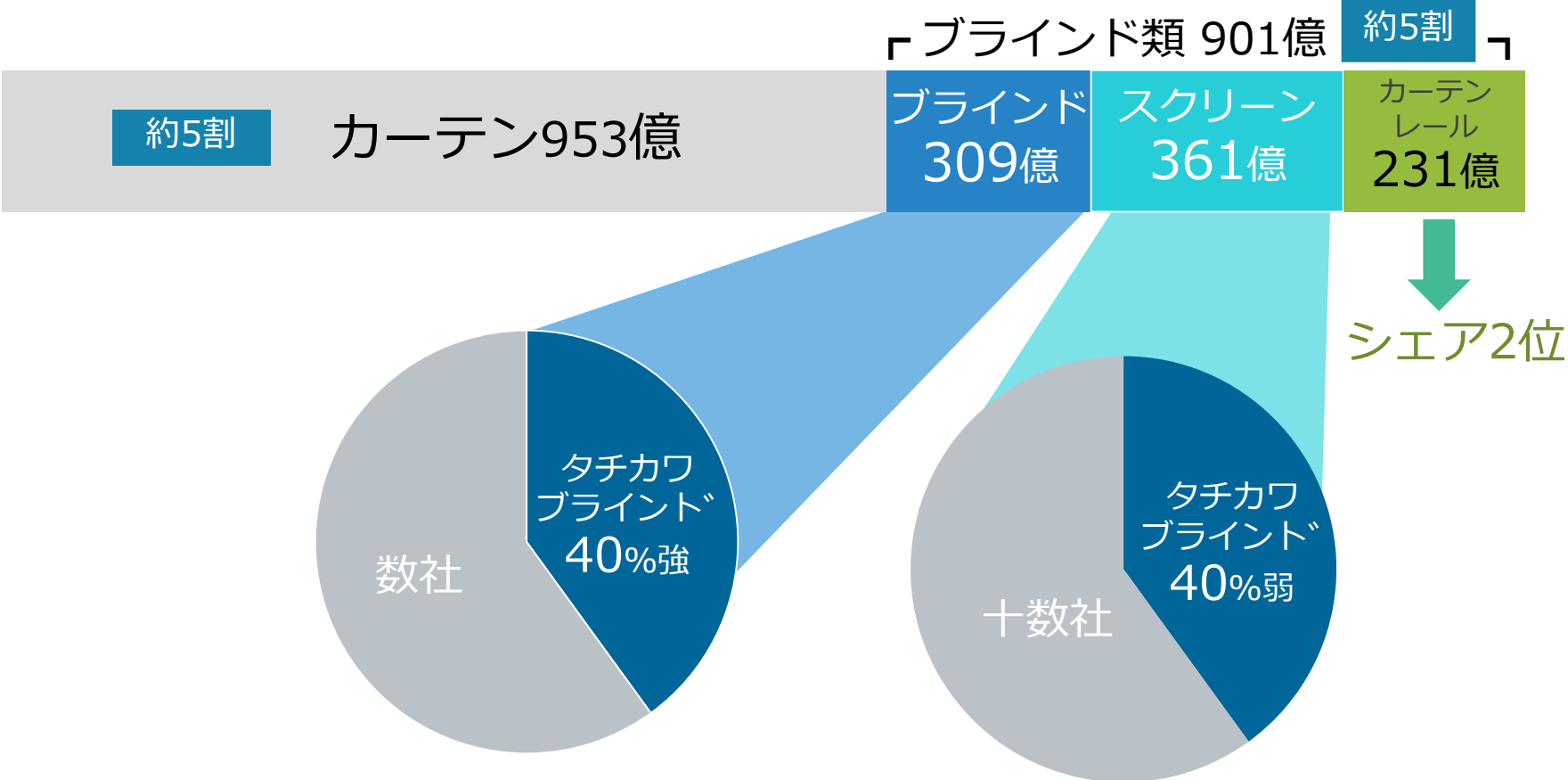
動画はこちらのQRコードやURLから  
ご視聴いただけます

■ 室内外装品関連事業の商流



**強み①**

2024年度 窓まわり製品の市場規模  
卸売ベース **1,854億円** (内、ブラインド類 **約901億円**)

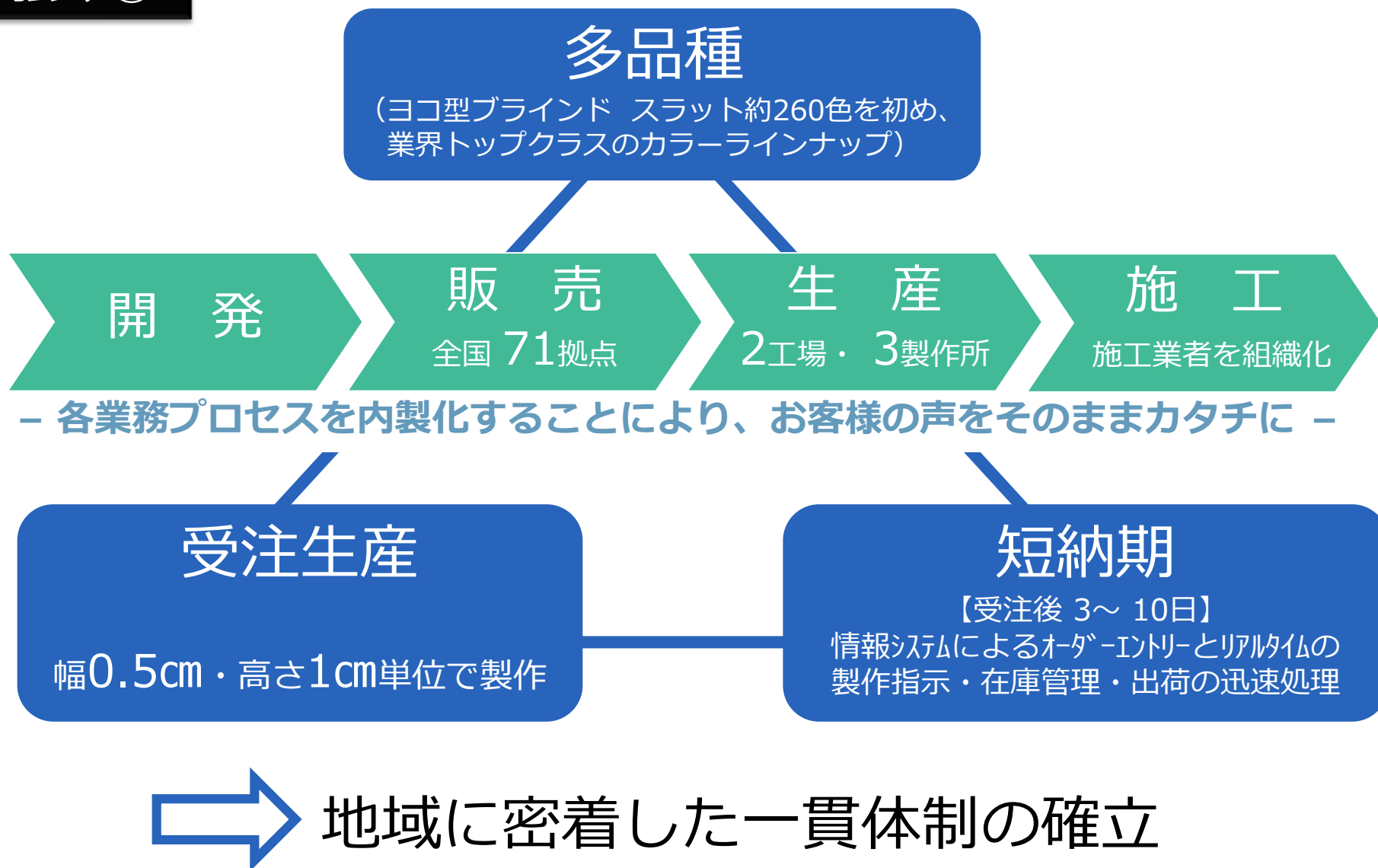


**ブラインド、スクリーンでNo.1シェア**

(社) 日本インテリア協会「2024年度のインテリア事業の概況」他より推定



強み②



強み③

支店・営業所	国内71カ所
ショールーム	国内9カ所
ディスプレイスペース	国内2カ所
製造拠点	国内5カ所



## 減速機関連事業

減速機：歯車でモータの回転速度を減速して  
大きな力を出す機械装置

産業から暮らしの分野まで、幅広い分野で使用



ギヤードモータ  
(VC series VX series)

## 標準仕様

- ・トップランナー
- ・インバータによる可変速運転
- ・ブレーキ手動開放装置付き
- ・異電圧対応
- ・防水対応(IP65)一部機種のみ
- ・低騒音・剛性・長寿命

## 食品機械向け仕様

- ・H1グリース(食品機械用)
- ・ステンレス出力軸
- ・抗菌塗装
- ・ファンレスモータ  
(微粉体飛散防止)

## 駐車場装置関連事業

くし歯式など、独自の技術をベースに  
パーキングシステムを開発

都市開発事業から、ホテル、福祉施設、病院、  
高層集合住宅など、あらゆるニーズに対応



タワー式パーキングシステム  
(パズルタワー)

ハイスピード  
入出庫

省エネ・省資源

耐震構造  
低騒音・低振動

安全性

## SUPER PUZZLE GS (地下式パーキングシステム)

地下スペースの  
有効活用

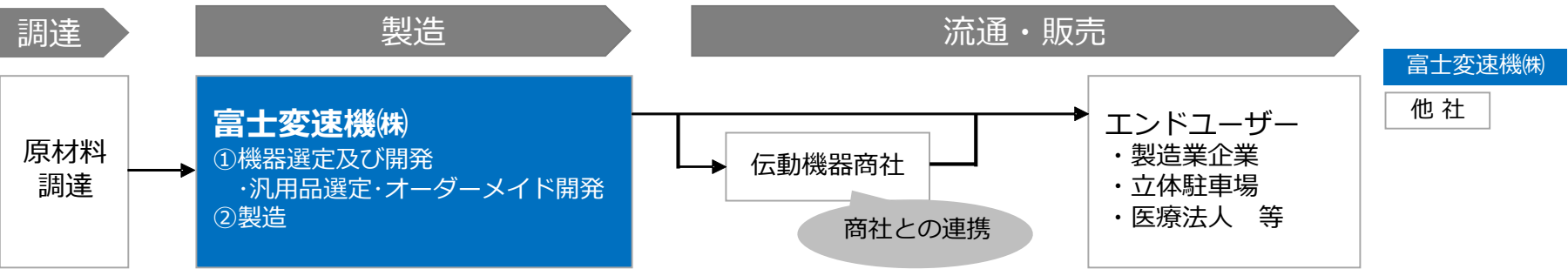
ハイスピード  
入出庫

GS/耐力壁に  
対応

低騒音・低振動

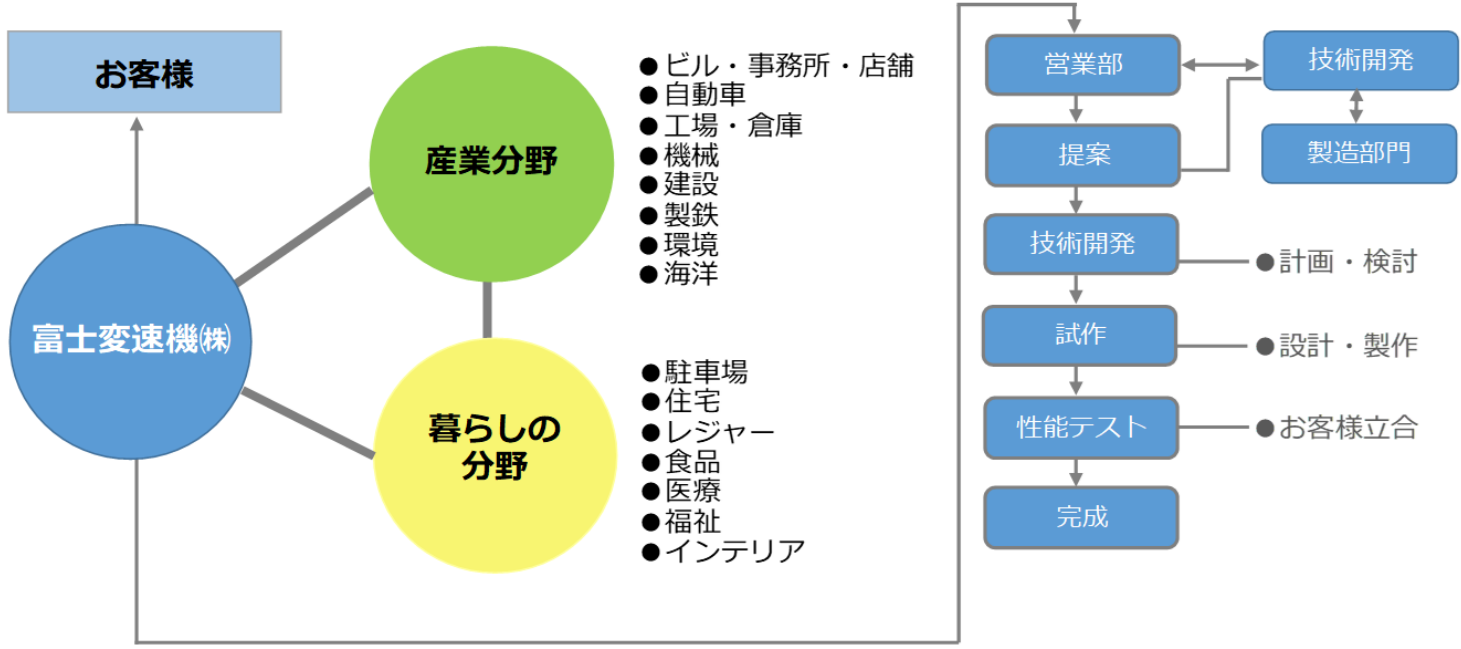


■ 減速機関連事業の商流



強み 個別製品の提案力・開発力

「お客様の理想をカタチに」する、オーダーメイド製品の提案力・開発力



## 個別製品強化による多様な産業と暮らしへの貢献

歯車技術を応用した各種装置や機器を設計・開発

### 産業分野

#### 工場：搬送台車用

##### スマートファクトリーに貢献

無人化工場の生産ラインや自動倉庫などに使用される無人台車(AGV)の車輪駆動装置として使用されています。



#### 工場：ナット締付用

##### 小形でハイパワー

各種の自動組立システムを構成する産業ロボットの末端作動機能として使用されています。



### 暮らしの分野

#### 食品：養殖用

##### 24時間連続で運転

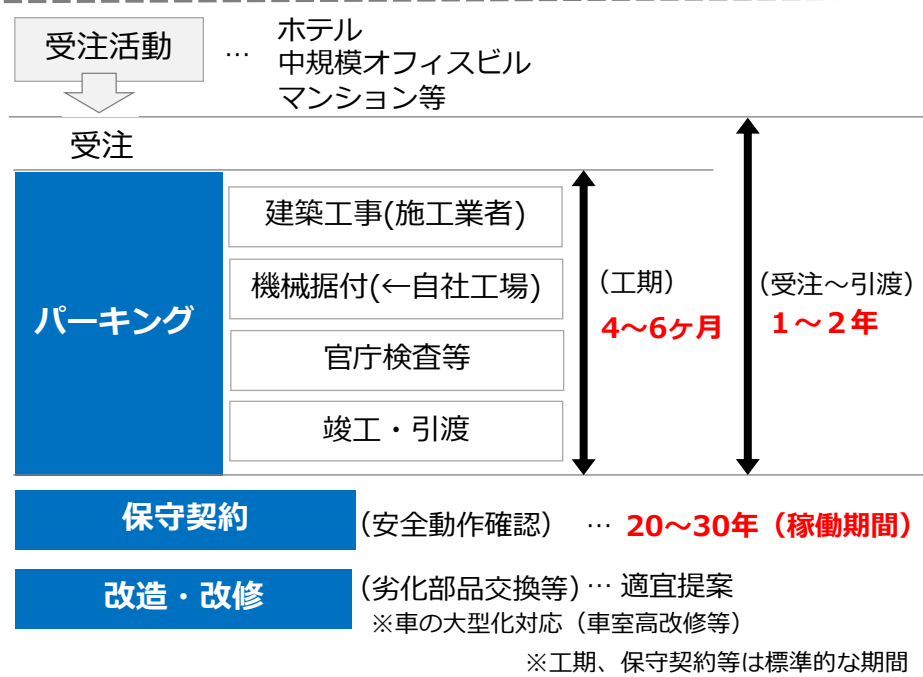
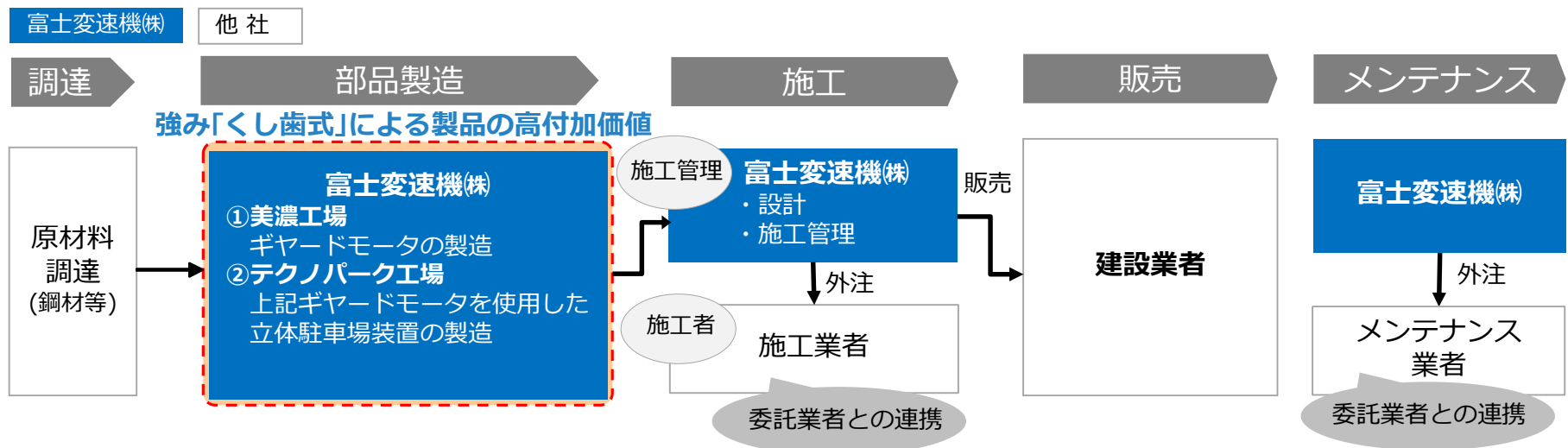
養殖池の水車回転用に使用されています。強度面でも優れ、過酷な運転にも対応できます。



産業から暮らしの分野まで幅広い分野で使用されており、  
景気に左右されにくく、安定した収益基盤の構築に貢献。



■ 駐車場装置関連事業の商流



■ 売上高の構成

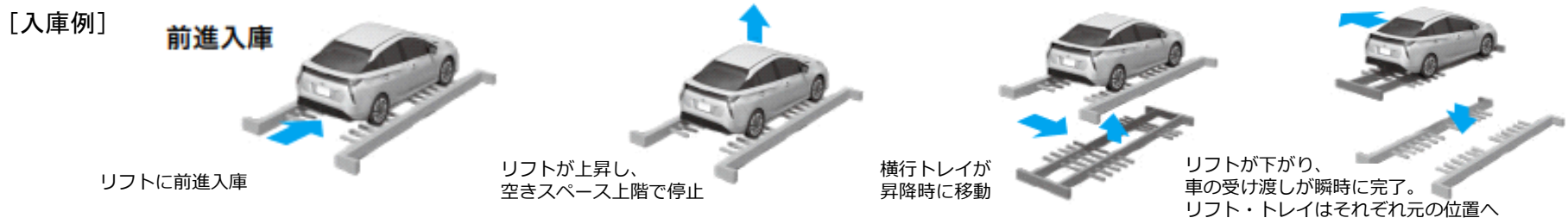
駐車場装置関連事業 売上高



## 強み 「くし歯式」による製品の高付加価値化

### くし歯式

- パレットレスのため「昇降リフト」が乗り込み階で入出庫どちらにも対応可能  
パレット式は「昇降搬器」が空車パレットを載せて乗込み階で入庫待機。出庫時は、空車パレットを空き車室へ収納後、対応
- 「昇降リフト」と「横行トレイ」のくし歯の交差により瞬時に受け渡し



### くし歯式の特長① 「昇降リフトの移動距離短縮」

**強み① ハイスピード入出庫**

✓ 利用者の利便性向上を望む施主(ホテル等)からの受注多数



**強み② 省電力**

✓ 消費電力はパレット式の1/2  
→ エコ×ランニングコスト減



### くし歯式の特長② 「トレイの落下を防ぐ構造」

**強み③ 高耐震性**

✓ 震災による車両の落下ゼロ  
(1995年 阪神淡路大震災)  
(2011年 東日本大震災)



ローラーがトレイをガイド

## 駐車場装置関連事業

### くし歯式立体駐車場装置



## 2. 決算概況

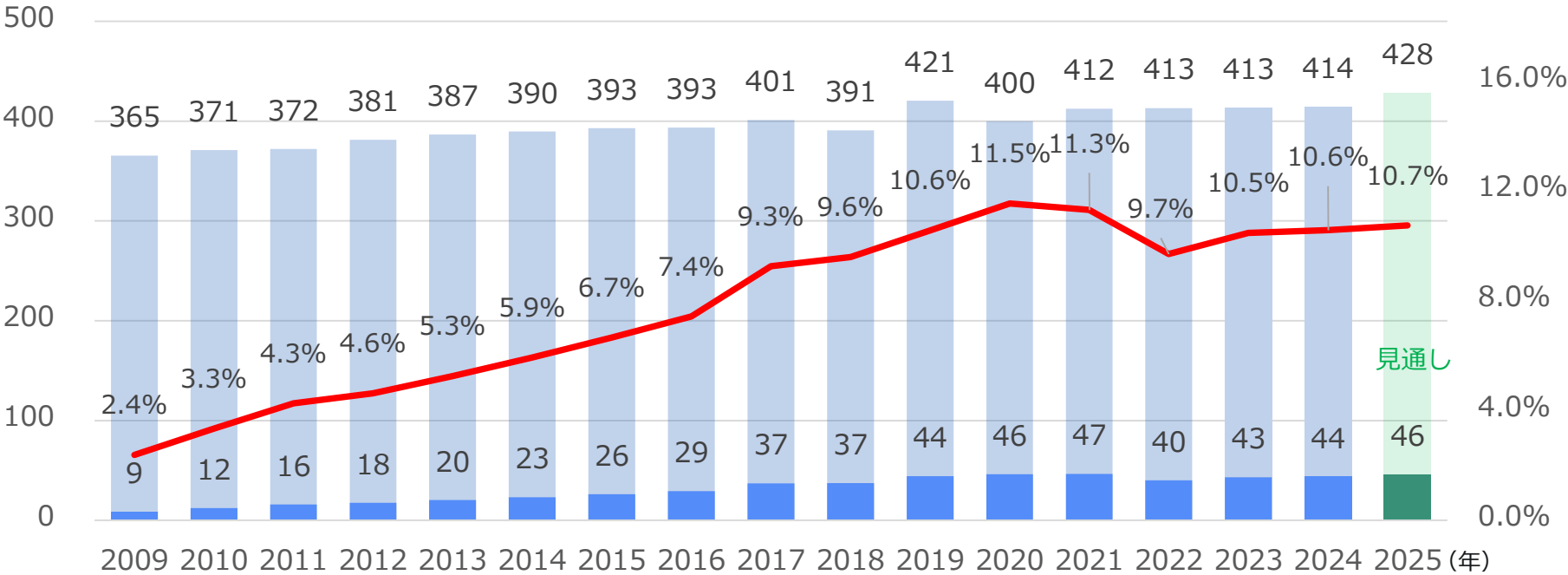
- ・ 連結業績推移
- ・ 2025年12月期 第3四半期 連結業績
- ・ 2025年12月期 第3四半期 連結貸借対照表

# 連結業績推移

- ・ 2010年以降マーケティングを強化し、高機能・高付加価値製品を生み出していくことで利益率を改善

※2022年度から「収益認識に関する会計基準」等を適用

単位：億円



2012年  
パーフェクトシルキー発売



2015年  
東証市場第1部指定



2019年  
プレイス スウィング発売



2022年  
滋賀工場 塗装棟稼働





(単位：百万円)

	2025年度第3四半期				2024年度第3四半期	
	金額	構成比	前年比	予算比	金額	構成比
売上高	31,081	100.0%	103.7%	100.5%	29,975	100.0%
室内外装品事業	26,610	—	104.4%	101.4%	25,477	—
減速機事業	2,535	—	108.8%	95.7%	2,330	—
駐車場事業	1,935	—	89.3%	95.7%	2,167	—
売上総利益	12,977	41.8%	104.9%	97.8%	12,375	41.3%
販売費及び一般管理費	9,816	31.6%	104.1%	94.7%	9,434	31.5%
営業利益	3,160	10.2%	107.5%	108.5%	2,940	9.8%
経常利益	3,288	10.6%	110.9%	108.4%	2,964	9.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,358	7.6%	119.8%	113.4%	1,968	6.6%

トピックス

- ・ 室内外装品関連事業において、主力ファブリック製品の生地柄を、質感・配色・機能性を充実させたラインナップへ大幅リニューアル。  
ファブリック製品の売上増加や 価格改定効果が寄与し、営業利益・経常利益は増益。
- ・ 政策保有株式や固定資産の売却による特別利益を計上し、当期純利益は大幅に増加。

単位：百万円

項目	2024年 12月	2025年 9月	増減
流動資産	39,563	<b>39,557</b>	△6
固定資産	24,279	<b>25,065</b>	+785
流動負債	7,916	<b>7,270</b>	△645
固定負債	2,937	<b>2,771</b>	△166
純資産	52,988	<b>54,580</b>	+1,591
総資産	63,842	<b>64,622</b>	+779

自己資本比率      83.0%      84.5%      +1.5%

## 主な増減要因

- 現預金 + 1,304
- 受取手形及び売掛金 △2,269
- 棚卸資産 + 790
- 有形固定資産 △652  
(福利厚生施設の減損損失)
- 投資有価証券 + 1,283  
(株価の上昇、社債購入)
- 未払金 △518
- 役員退職慰労引当金 △321
- 利益剰余金 + 1,313 (利益計上、配当)
- 有価証券評価差額金 + 271

## 3. 成長戦略

- ・ 中期経営計画の基本方針
- ・ セグメント別の取組み
- ・ 富士変速機(株) 完全子会社化
- ・ キャッシュアロケーション
- ・ サステナビリティ
- ・ 中期経営計画（業績目標）の進捗状況

## 中期経営計画（2023 – 2025）

# タチカワビジョン2025 ～継続と進化～

建築物内外の生活環境の改善による社会貢献を継続しながら、  
「ものづくりとマーケティング」「経営基盤の強化」「サステナビリティ」  
に注力し、時代のニーズに応じて進化させてまいります。

### 室内外装品関連事業

- ・ マーケティングの継続・進化
- ・ 技術革新
- ・ 生産体制の強化
- ・ 戦略に必要な人材の確保と育成
- ・ 計画的な事業拠点整備

### 減速機関連事業

- ・ 個別品の差別化戦略
- ・ カタログ品の販売強化

### 駐車場装置関連事業

- ・ 新規物件獲得強化
- ・ 付加価値提案による  
改造・改修物件の獲得

### サステナビリティ

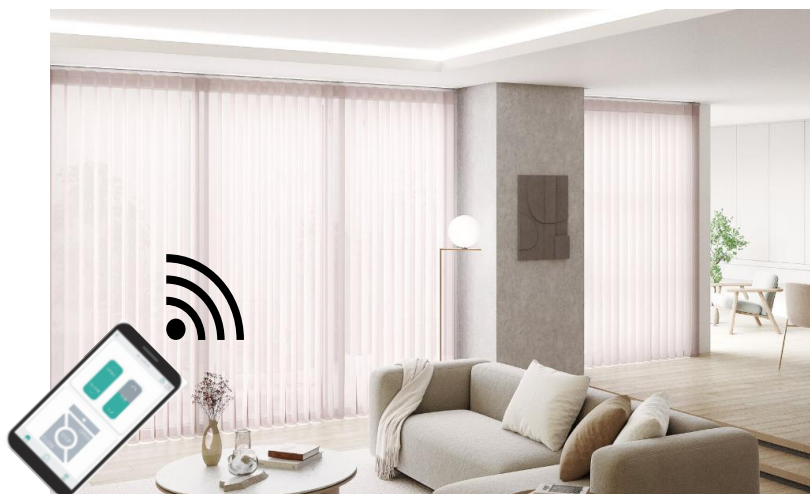
- E** ・ 温室効果ガス排出量の削減
- ・ 環境配慮型設計の推進
- S** ・ 人にやさしい快適な環境づくり
- ・ 健康経営の推進
- ・ 社員の多様性拡大
- G** ・ コーポレートガバナンス強化
- ・ リスクマネジメントの強化
- ・ コンプライアンスの徹底

## ものづくりとマーケティング

### マーケティングの継続・進化

- ① 「安心・安全・快適・環境・健康」を基本とした製品開発と販売促進
- ② 電動製品、間仕切製品による新たな快適な住空間の提案
- ③ デジタルマーケティングの強化と、リアルとデジタルを融合させたマーケティングの進化
- ④ 利益体質強化に向けた基盤づくり

### 成長製品の強化



スマートインテリアシェード ホームタコス  
電源プラグをコンセントに差すだけの簡単施工  
コンセント不要のバッテリー仕様もラインナップ



パネル間仕切 プレイス  
窓まわり製品だけでなく空間もデザイン



## ものづくりとマーケティング

調光ファブリック製品による需要開拓

窓まわり市場において調光ができるファブリック製品の需要が拡大傾向。

ロールスクリーンやタテ型ブラインドの調光ファブリック製品を順次市場投入。  
売上が拡大しており、中長期的に成長させていく製品と位置付け。

**2024年2月発売**  
**2025年5月リニューアル**

調光タテ型ブラインド  
「エアレ」



**2023年7月発売**  
**2024年11月生地拡充**

調光ロールスクリーン  
「ルミエ」



調光ロールスクリーン  
「デュオレ」



2024年2月発売のエアレは、カーテンのような柔らかさと、タテ型ブラインドのすっきりとしたデザインを兼ね備えた、採光と眺望、出入りを自由にできる調光ファブリック製品

## ものづくりとマーケティング

調光タテ型ブラインド「エアレ」 (2024年2月 発売、2025年5月 リニューアル)



動画はこちらのQRコードから  
ご視聴いただけます



＜タチカワブラインド公式Instagram＞  
[https://www.instagram.com/tachikawablind\\_official/](https://www.instagram.com/tachikawablind_official/)

## ものづくりとマーケティング

### 新宿ショールーム をオープン【開館日 2026年1月16日(金)】

窓まわりや間仕切製品を『選ぶ・触れる・組み合わせる』楽しさを体感できる  
新ショールームを開館。

多彩な製品や色柄バリエーションの中から、お客様のニーズに合わせた最適な製品を提案。  
新宿エリアは住設機器メーカーのショールームが集中しており、ユーザーの利便性向上。



新宿ショールーム イメージ



展示スペースがワンフロアとなり、製品選定から色決めまで  
スムーズに行うことができる

#### 【新宿ショールーム 特長】

- ・高さ約2mのサイズのサイズの間仕切りのパネルカラーサンプル
- ・大小さまざまな窓シーンや間仕切りシーンの展示
- ・生活シーンを体感できるモデルルーム

詳細はこちらのQRコードから  
ご覧いただけます



<https://www.blind.co.jp/showroom/>

## ものづくりとマーケティング

### 技術革新、生産体制の強化

#### 2024年10月 技術研究棟稼働

新技術 新素材 新製法等の研究施設



#### 2027年 札幌製作所移転

道内物流拠点との統合



#### 2023年4月 新成形棟稼働

樹脂部品の生産拠点、外注部品の内製化





技術研究棟

概要

稼働時期	2024年10月
投資額	7.2億円
用途	新規研究開発・実証試験拠点

- 4階建の施設内には、恒温恒湿試験室や遮光性試験室、音響測定室、最大高さ8mの製品検証設備などの多彩な研究・評価設備を設置。これまで各拠点に点在していた研究・評価設備を集約したことで研究開発のスピードと質が向上。

研究・開発拠点の集約と高度な研究・評価設備  
を活用した開発スピードと質向上

特長	各種研究・評価設備の集約・充実 実際の設置環境下での実証実験エリア 省エネと快適性を両立した建物設計
----	----------------------------------------------------------

- 近年の高層ビルで採用されているダブルスキンサッシを用いた効果検証や太陽エネルギーを利用した製品研究など、実際の設置場所や使い方を想定した環境下での実証試験を強化。
- 空調・照明の一括管理などの建物全体のエネルギー消費の最適化と快適性を両立した建物設計となっており、「BELS」の最高位と「ZEB Ready」の認証を取得。



技術研究棟 外観



最大高さ8mの製品検証設備



実際の環境を想定した実証試験室



減速機関連事業

差別化提案による販路開拓

標準品のアレンジ対応



各種装置や機器の個別設計・製作



駐車場装置関連事業

付加価値提案による物件獲得



高層タワー式立体駐車場  
「BEYOND」

従来のパーキングシステムを  
さらに進化

- ・ 高層タワー式で  
業界一の入出庫時間
- ・ 入庫可能な車種拡大
- ・ 多彩な仕様とオプションで  
様々なシーンに対応

全車室でのEV充電対応



## 減速機関連事業

### 無人搬送台車用ギヤードモータ



- 目的
- 1. グループガバナンスの強化  
富士変速機の少数株主との利益相反関係をなくし、上場会社の短期利益志向から解放することで、長期的な視点でグループ全体の企業価値向上に取り組む。
  - 2. グループ内の営業協働体制の強化による拡販
  - 3. 上場廃止による上場維持コストの低減・収益改善
  - 4. 非支配株主持分利益の内部取込による連結業績の向上

完全子会社化によるシナジー効果

完全子会社化による人材交流・協働の取組み強化		
減速機	富士変速機	当社商流を活用した <b>建材系・機械系卸への減速機拡販</b>
駐車場装置	当社	<b>ホテル等の物件情報の早期共有</b> による販促化・受注獲得
	富士変速機	当社を通じた <b>得意先への販促・販路拡大</b>

株式交換

株式交換比率

富士変速機 株式1株に対し、当社株式0.25株を交付  
交付株式 1,639千株 …自己株式を充当

効力発生日

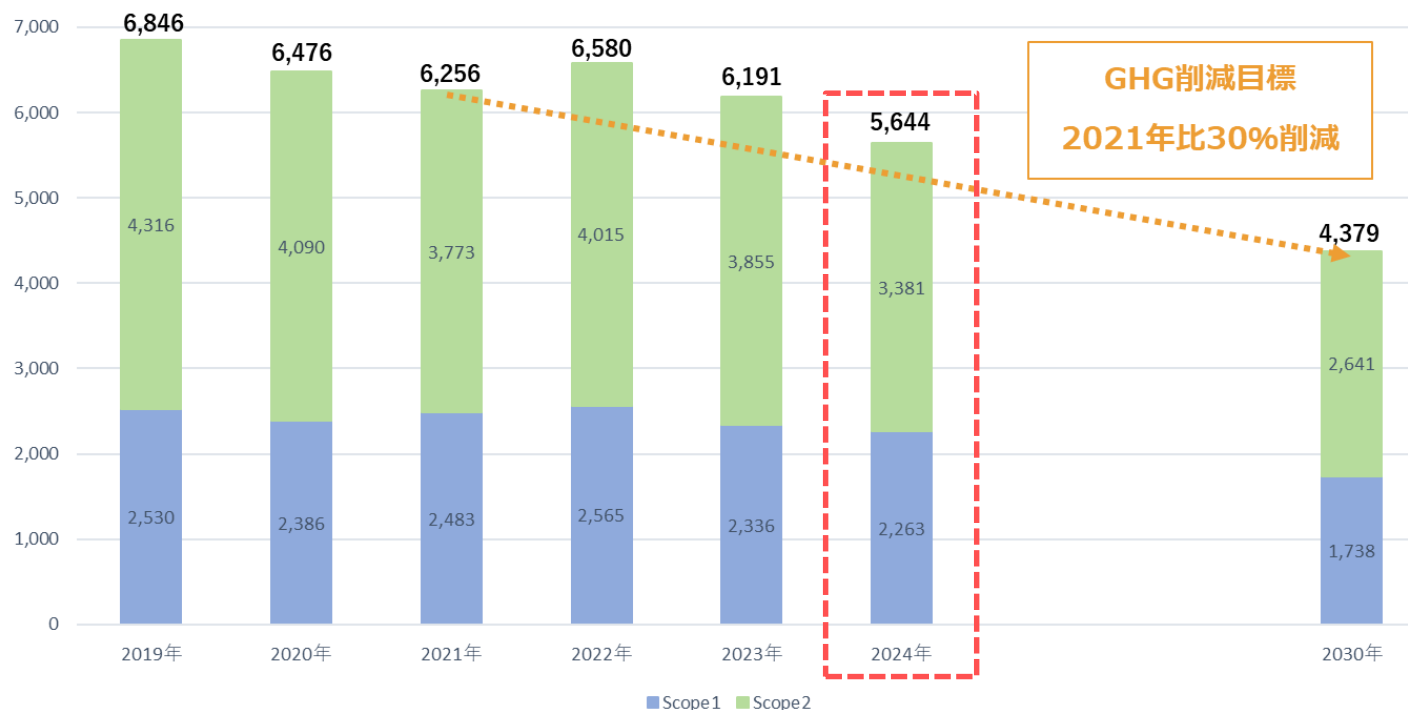
2024年10月28日

- ・ 2023年から2025年までの連結営業キャッシュイン120億円を原資に、株主還元と成長投資を強化。
- ・ 成長投資枠を60億円（当初46億円）、株主還元を42億円（当初28億円）に拡大。

営業CF 120億円 以上	最新投資計画 (2023-2025)	主な投資内容	2023-2025年 3ヶ年期間	総投資額	完了時期
	維持投資 20億円	・ 既存事業継続の為の必要投資			
	成長投資 60億円	・ 札幌製作所移転	13.1億円	25.5億円	2027年竣工予定
		・ 成長製品群の生産体制整備 （間仕切、ファブリック製品生産棟建設など）	2.7億円	40.0億円	2025年 ～2028年計画
		・ 広島支店新設	4.7億円	5.5億円	2026年竣工予定
		・ 技術研究棟新設	7.2億円	7.2億円	2024年10月
		・ 関東支店新設	0.9億円	2.1億円	2023年5月
		・ 新成形棟（立川機工）	3.3億円	5.8億円	2023年4月
		・ サーボモータ事業 譲受	2.0億円	2.0億円	2024年1月
		・ 事業領域拡大とアライアンス推進	10.0億円	(今後更なる増加を検討)	
	株主還元 42億円	・ 累進配当継続（今期増配） ・ 機動的な自己株式の取得	42.0億円	今後も累進配当継続	

## 事業活動における環境負荷低減

## 当社グループ 温室効果ガス(GHG)排出量 (Scope1、2)

2024年1月～12月累計 5,644t-CO<sub>2</sub> (2021年同月比90.2%,前年同月比91.2%)2025年1月～ 6月累計 2,691t-CO<sub>2</sub> (2021年同月比86.6%,前年同月比97.2%)

## 主な取り組み

- ・ 製造工程の省エネルギー化の推進(高効率設備への更新、再エネ導入等)
- ・ 各事業拠点のLED照明切替の推進
- ・ 営業車両の低燃費車への移行



安心・安全・快適で環境に配慮した住空間の提供

## 環境に配慮した製品開発

### 木製ブラインド 『フォレティア』

#### 『国産材』や『自然由来の塗料』を使用した木製スラット導入

国産のヒノキ・スギを使用したスラットや、アマニ油を原料とした自然塗料を塗装した桐スラットをラインナップ。

国内の森林資源を活用し、森林環境の保全・活性化、持続可能な循環型社会への貢献を目指す。

#### FSC®認証※木材を使用したスラット『ネイチャー』（FSC®-C195138）導入

FSC®100%認証材を使用したスラットをラインナップ。  
また、2023年12月に当社の生産拠点である新潟工場、  
滋賀工場にてCOC認証を取得。  
木材の仕入から製品の組立まで適切な管理で生産を行い、  
持続可能な社会の実現に貢献。

※FSC®認証 (FSC®-C195138)

責任ある管理された森林と、限りある森林資源を将来にわたって  
使い続けられるよう適切に調達された木部材に対する国際認証制度。



## 社会貢献活動への取り組み

## タチカワブラインドグループの社会貢献活動支援

立川更生保護財団

## “社会を明るくする運動”への協力

法務省主唱の“社会を明るくする運動”への助成等。

## 更生保護施設に対する助成

犯罪や非行をした人たちの社会復帰に尽力している  
更生保護施設の改善や設備の充実等の助成。

## 更生保護に関する地域活動への支援

- ・ 保護司と学校・地域との連携活動に対する支援。
- ・ 更生保護女性会、BBS会(更生保護の青年ボランティア団体)の活動への助成

〔瀬戸山賞について〕

永年にわたり更生保護事業の発展に貢献された瀬戸山三男氏の功績を記念して  
更生保護制度施行50周年を機に創設されたもので、顕著な功績のあった更生保  
護事業に従事又は協力する個人・団体に贈呈されるものです。



「こども夢プロジェクト2025 in 小樽」を視察



立川更生保護財団が「令和7年度 瀬戸山賞」を受賞

(単位：億円)

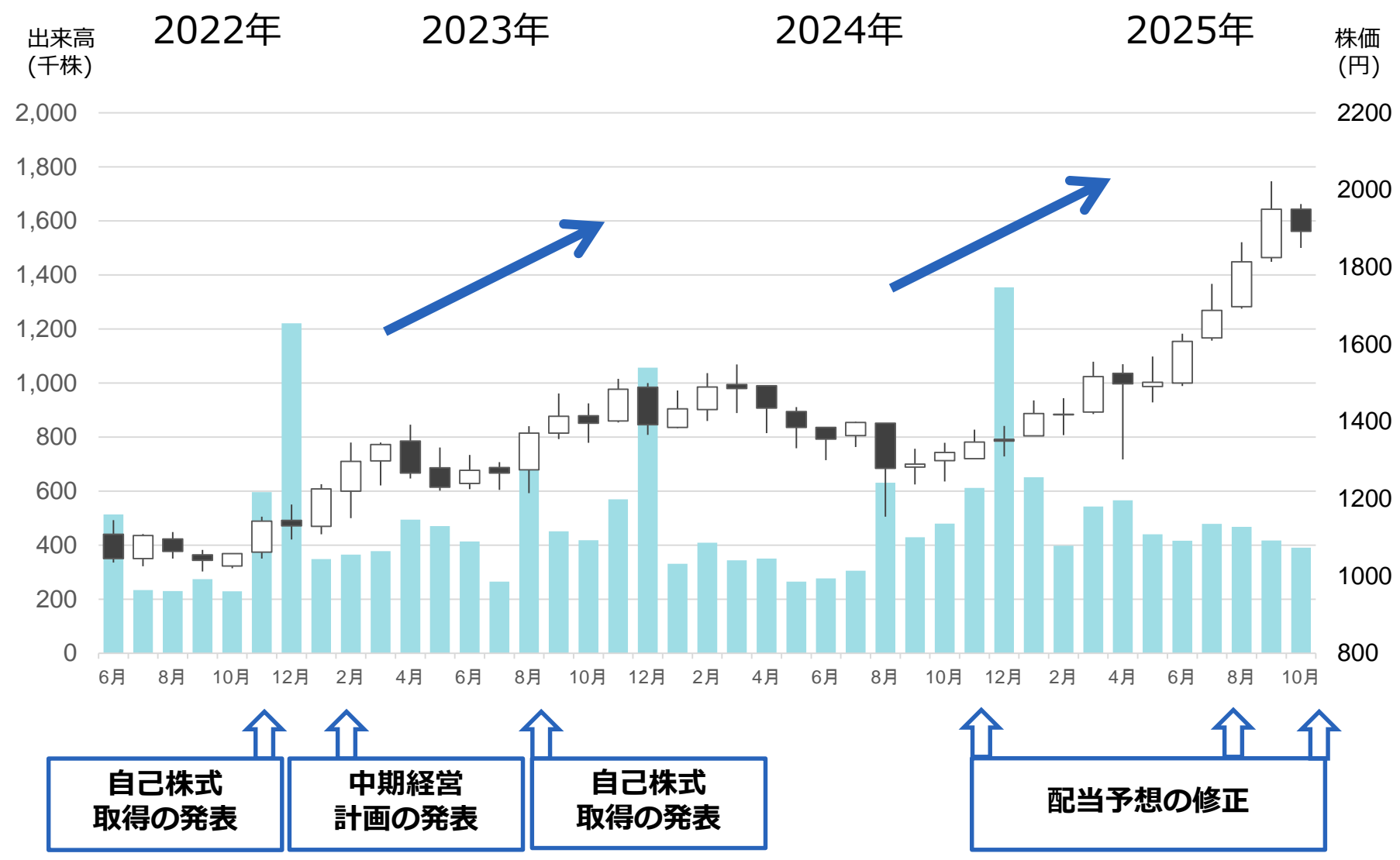
	2025年12月期 第3Q			2025年12月期 通期		中期経営計画 最終年度目標
	実績	前年比	計画比	業績予想	前年比	業績目標
売上高	310.8	103.7%	100.5%	428.0	103.4%	445
室内外装品事業	266.1	104.4%	101.4%	359.8	103.3%	371
減速機事業	25.3	108.8%	95.7%	37.5	106.9%	41
駐車場事業	19.3	89.3%	95.7%	30.7	100.2%	33
営業利益	31.6	107.5%	108.5%	44.0	100.9%	44
経常利益	32.8	110.9%	108.4%	46.0	105.1%	46
親会社株主に帰属する 当期純利益	23.5	119.8%	113.4%	32.0	114.2%	29

【2025年 業績予想】

- ・ 営業利益以下 利益目標は 全て中期経営計画の計画値を達成する見通し。
- ・ 当期純利益は、保有不動産や政策保有株式の売却を推進したことで、中期経営計画の計画値 29億円を大きく上回る 32億円の見通し。当期純利益32億円は、過去最高益。

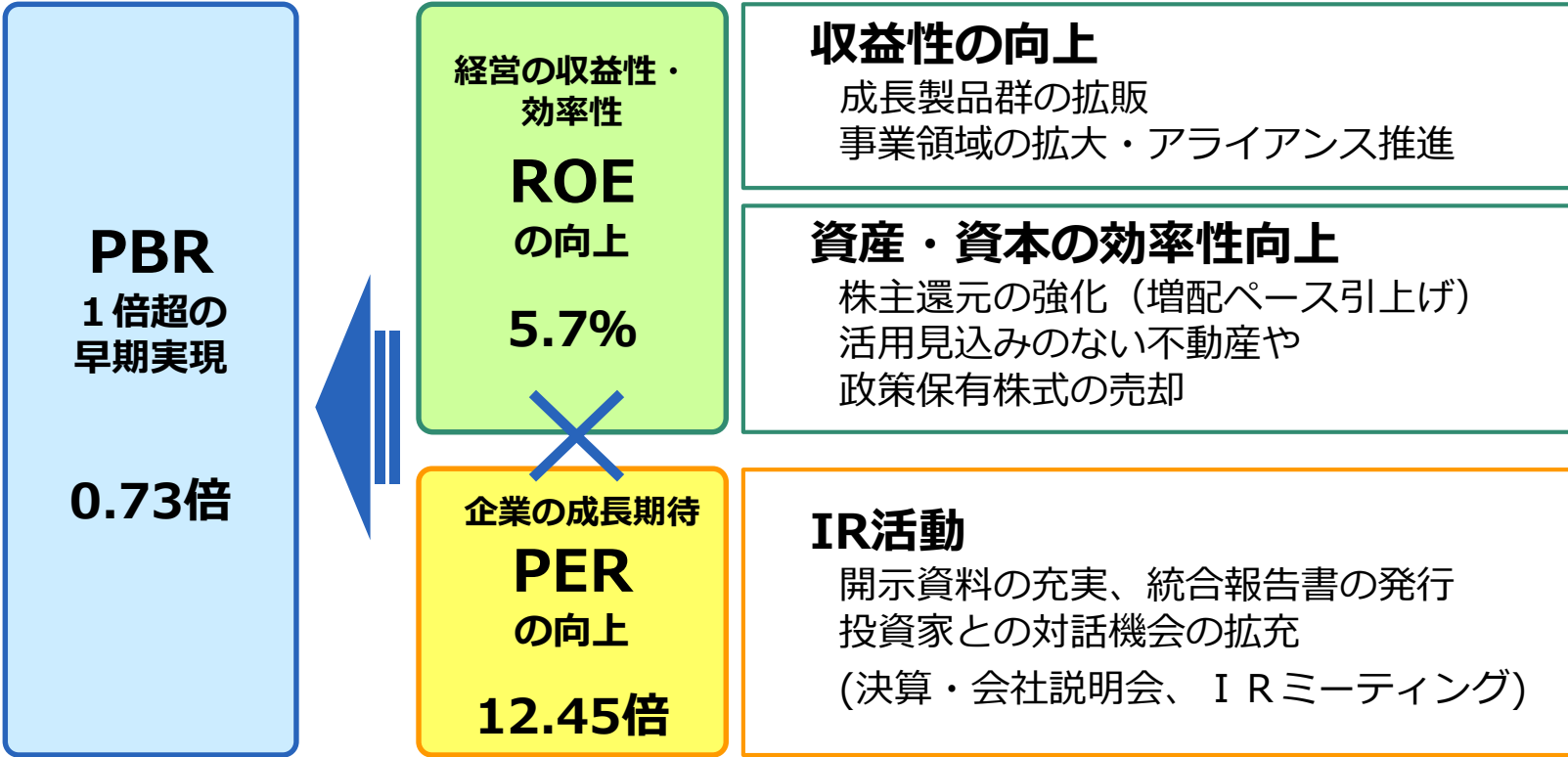
## 4. 企業価値向上の取組み

- ・ 株価・出来高の推移
- ・ 企業価値の向上に向けた取組み





主力事業の強化や資産効率の改善、株主還元の強化による「ROEの向上」とIR活動の強化による「PERの向上」によりP B R 1 倍超の早期実現を目指す



(数値は2025年11月5日時点)

## 5. 株主還元

- ・株主還元方針
- ・株主優待制度のご紹介
- ・配当・優待シミュレーション
- ・当社ホームページのご紹介

## 株主還元の方針

- ・ 減配せず、配当水準を維持 または 増配を継続。【累進配当】
- ・ 増配ペースを引上げ、経営環境に応じ自己株式の取得を進め、総還元性向50%以上を目指す。

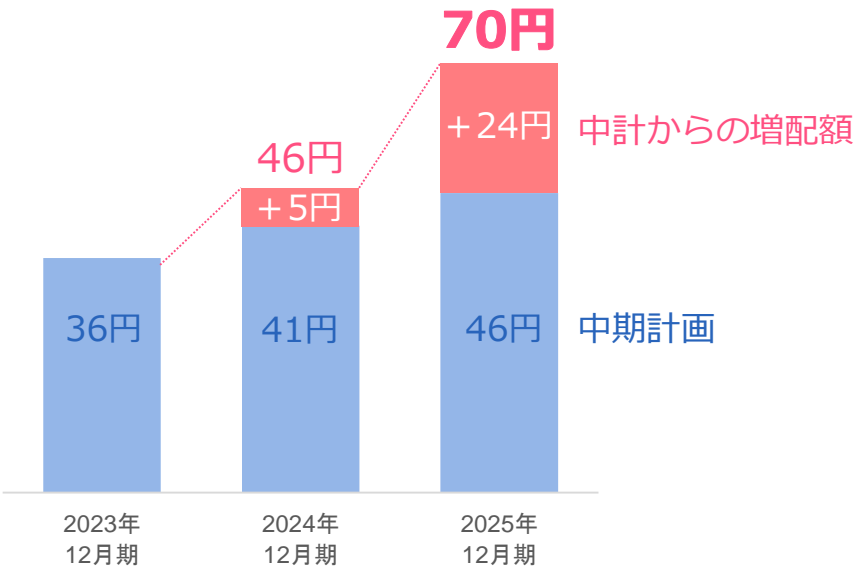
## 2025年12月期における増配の実施

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
年初予想	17円	38円	55円
8/5 修正予想	20円	45円	65円
11/5 修正予想	20円	50円	70円

- … 年初予想より年間10円増配
- … 8/5修正予想より期末配当を更に5円増配

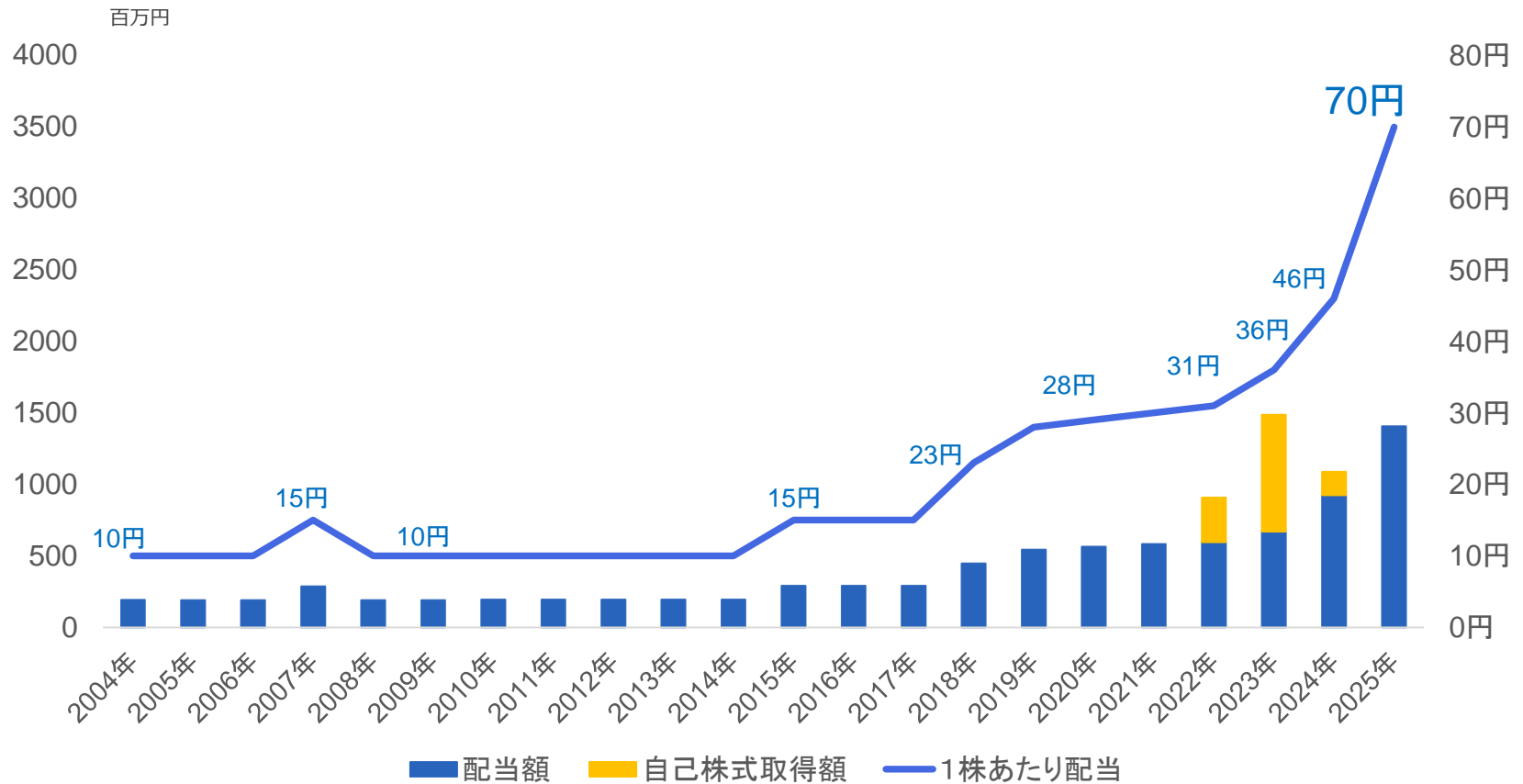
## 過年度実績 及び 今期配当予想

	2023年 12月期	2024年 12月期	2025年 12月期
当初 中期経営計画	36円	41円	46円
11/5 修正予想	－	－	70円
実 績	36円	46円	－
配当性向	25.1%	31.0%	44.0%
総還元性向	55.3%	36.8%	44.0%
中計からの増配額	－	+ 5円	+ 24円



## 累進配当の継続

- ・過年度においては、16期連続減配なし。[8期連続増配](#)。
- ・2014年まで10円を基本としていたが、増配を続け 今期は70円。  
今後も累進配当を継続。



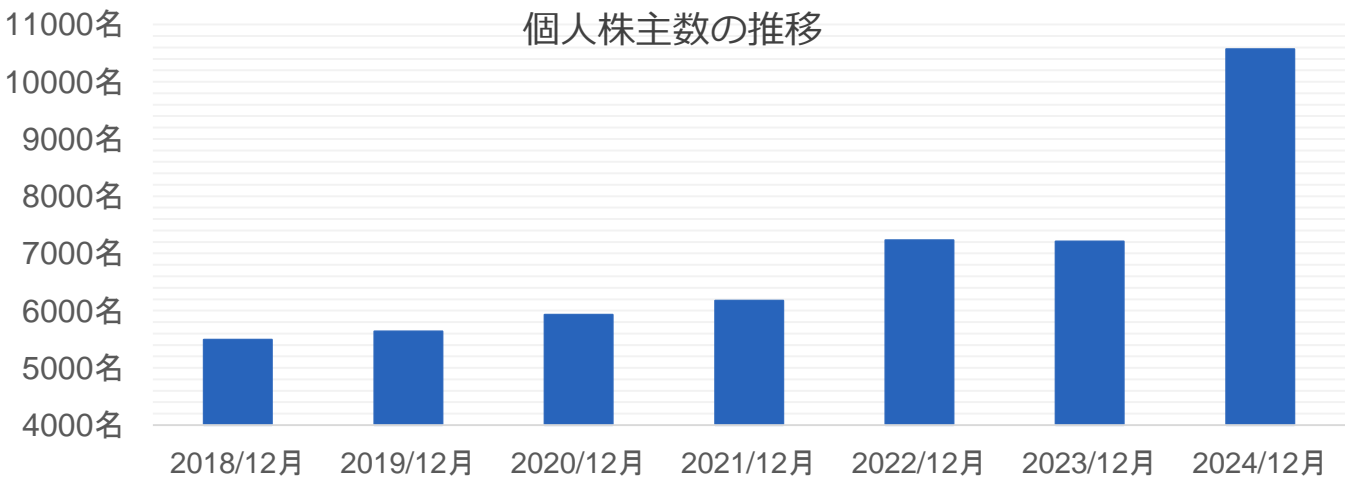
【オリジナルクオカード贈呈】

12月31日時点で当社株式を 100株以上保有している株主様に、保有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを贈呈。

保有期間 保有株式数		3 年未満	3 年以上
100株以上	300株未満	クオカード 500円分	クオカード 1,000円分
300株以上	500株未満	クオカード 1,500円分	クオカード 2,000円分
500株以上	1,000株未満	クオカード 3,000円分	クオカード 4,000円分
1,000株以上		クオカード 4,000円分	クオカード 5,000円分



クオカードイメージ



↑株主優待拡充



- 1株当たり年間配当額 70円（2025年12月期予想） … 中期経営計画 最終年度の配当予想額
- 株式保有期間 3年未満
- 株価 1,893円（2025年10月末日 東証終値）

【中期経営計画期間中の1株当たり年間配当額】

	2023年 12月期	2024年 12月期	2025年 12月期
当初 中期経営計画	36円	41円	46円
実績	36円	46円	－
11/5 修正予想	－	－	<b>70円</b>

株式数	投資金額	年間配当額		優待（クオカード）		配当+優待	
			配当利回り		優待利回り		実質利回り
100株	189,300円	7,000円	3.70%	500円	0.26%	7,500円	3.96%
300株	567,900円	21,000円	3.70%	1,500円	0.26%	22,500円	3.96%
500株	946,500円	35,000円	3.70%	3,000円	0.32%	38,000円	4.01%
1,000株	1,893,000円	70,000円	3.70%	4,000円	0.21%	74,000円	3.91%

当社ホームページでさまざまなIR情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.blind.co.jp/company/ir/>

タチカワブラインド IR 検索



タチカワブラインドグループ  
統合報告書 2025（2025.6月発行）



ご清聴  
ありがとうございました。

## 将来見通し等に関する注意事項

本資料における当社グループの今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。